

平成二六年八月三十一日(日) 開場 午後四時半 / 開演 午後五時 (会場) 名古屋能楽堂

名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

お話

詩人  
村瀬和子

SUMIDAGAWA

# 隅田川



高安勝久

一六九〇年(元禄三年)から、尾張藩に高安流ワキ方として仕えた家柄。維新後、途絶えていた高安流を祖父 西村弘敬が、金剛右京の推挙により、長男 滋郎(勝久の父)に十三世を再興させる。滋郎没後 叔父 西村欽也が宗家を預かる。一九九二年、滋郎次男、勝久氏が十四世を継承。堅実で真面目な芸風 梅田邦久

名古屋の重鎮。観世流シテ方。地を勤められます。

江戸浄瑠璃清元節

清元は、初代清元延寿太夫(一七七七年ー一八二五年)が一八一四年に創始。以降、歌舞伎の伴奏音楽として徐々に発達。特徴は、叙情的で風情を濃厚なものとし、江戸後期、長唄の影響を受け、声のびやかさや、節まわしのおもしろさを加味。語り物の豪壮さのかわりに、高音を多用する江戸浄瑠璃の精髓を示し、幕末から明治に更に発展し現在に至る

清元志佐雄

渡守 十四世高安流宗家 高安勝久  
狂女 市川櫻香  
地謡 梅田邦久  
清元志佐雄太夫  
打ち物 仙波清彦

父、志寿太夫は、戦前、戦中、戦後の邦楽界を代表する太夫、演奏家。兄、栄三郎、父子初の人間国宝。清元節独特の華やかさ、誠実な語りを、踏襲する家柄。細やかな感情表現により、美しい日本の邦楽を現代に伝える

仙波清彦

邦楽囃子仙波流家元、仙波宏祐の長男。三歳から父に小鼓、太鼓を学ぶ。十歳より歌舞伎界へ。「日本伝統楽器アンサンブル」フランス公演、新国立劇場「現代能楽集 鶴」等。伝統と現代を繋ぐ魅力を伝える

市川櫻香

祖母、岸沢式寿右(後、豊後半寿)。二歳常磐津、八歳日本舞踊初舞台。伝統芸能を中部邦楽教室で学ぶ。むすめ歌舞伎創設・代表。市川宗家より当団体に市川姓を許される。「市川櫻香の会」発足。人間国宝 藤間藤子師、蘭景師、蘭黄師に師事

料金：自由席 5千円 / 学生(当日券のみ) 3千5百円

お申込み・お問い合わせ NPOむすめかぶき 052 (323) 4499

名古屋能楽堂 052 (231) 0088

FAXでのお申込み NPOむすめかぶき 052 (323) 4575

メールでのお申込み NPOむすめかぶき info@musumekabuki.com

愛知県芸術文化センタープレイガイド ☎ 052 (972) 0430

中日サービスセンター(中日ビル1階) 日祝日は休み：営業 10時~18時

チケットぴあ ☎ 0570-02-9999

平成26年度 戦略的芸術文化創造推進事業活用予定

主催：NPO むすめかぶき

後援：愛知県 / 愛知県教育委員会 / 名古屋市 / 名古屋市教育委員会 申請中

写真：澤尾康博

ほの暗い灯りの中に、夢と現実を行き交う  
能楽による渡守と、歌舞伎による母の狂女―  
「不朽の名作」はいつの時代も人の心を揺さぶる

●「日本の魅力を探る」講座 毎月一回開催  
講座にご参加の方に、本公演(ご)優待。  
六月二十九日(日)、七月二十七日(日)、二時始  
会費 三千元(お茶・お菓子) 於、中部邦楽教室